

令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

ひらやま あきひと
上下水道局水道施設部長 平山 昭仁



仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針

近年の水道事業を取り巻く環境は、増え続ける老朽施設の更新費用の増大と、また社会状況、人口の減少や節水器具の普及等により給水収益が減少するなど、経営環境は非常に厳しいものとなってきています。また、近年多発しています自然大災害等にも強いライフラインの確保を目指して、山間地域の送配水機能と平区配水機能の整備を進め、老朽化した管路の更新、耐震化を行い、水道施設の強化を図ってまいります。

水道事業の使命は、安心して安全な「命の水」を安定して使用者の皆様にお届けする事であり、文化的な都市生活を営む上で、一日も欠かすことのできない事業であり、水道施設部では、限られた財源の中で、努力と創意工夫をもって効率的・効果的に水道施設の新設・更新や維持管理などを行い、「安心できる水道」の構築に努めてまいります。

また、3点の取り組み方針を進めてまいります。

まず、1点目には、老朽化水道施設の効率化・効果的な更新に努めてまいります。

内容として、老朽設備の更新及び基幹管路・配水支管の耐震化、低コストを考えた工事費用の縮減、アセットマネジメントによる適正な資産管理であります。

2点目には、安定した水供給のための維持管理に努めてまいります。

漏水対策として、計画的な漏水調査を行い、早期対応を行うことによる維持管理に努めます。徹底した水道水の品質管理による維持管理であります。

最後の3点目ではありますが、「水道施設における再生可能エネルギーの活用」として、水力発電を専門とする民間企業と連携し、配水池における余剰圧力（水流のエネルギー）を活用したマイクロ水力発電設備を導入し、売電等による新たな収入の確保に取り組みます。

令和元年度の振り返り

令和元年度の建設改良事業につきまして、5か年事業である第四次水道施設整備事業の4年度にあたり、施設整備では安定給水の確保及び発災時に飲料水を確保するため、上小阪配水場の老朽化した施設の更新工事を継続して実施しました。また山間地域への安定給水の強化を図るため、五条低区配水池に五条中区配水池への送水を可能とする為の建屋及び機械電

気設備の新設と併せて、老朽化した機械電気設備の更新工事に着手しました。

管路整備においては、市民生活の重要なライフラインとして、地震等災害時においても安全で良質な水の安定供給を図るため、山間地域への送水管整備、重要給水施設への供給管路整備及び基幹管路・配水支管の整備事業を実施しました。

令和2年度も引き続き事業継続及び機能強化を目指して精力的に頑張っております。